

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	新東名高速道路整備促進事業			事業番号	31-104
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部国県事業推進担当	三宅伸宏	国県事業対策課	石井 渉	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	2	便利で機能的なまちをつくる	
		施策	31	都市の機能を高める基盤施設整備の推進	
予算事業名	広域幹線道路推進事務費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	国土開発幹線自動車道建設法、道路法、高速自動車国道法、道路整備特別措置法、都市計画法				
国・県の計画等	第四次全国総合開発計画、第11次道路整備5箇年計画、かながわのみちづくり計画			計画期間	
関連個別計画				計画期間	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	広域幹線道路における交通利便性の向上などを図るため、中日本高速道路(株)により、新東名高速道路(伊勢原北インターチェンジ(仮称)、伊勢原ジャンクション(仮称)等を含む)の整備が進められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	広域幹線道路のネットワークが形成されることによる交通利便性の向上などにより、本市の都市機能を高めるため、新東名高速道路の円滑な整備促進や、地域に対する様々な機会を通じた情報提供などの地域支援を行います。				
主な対象 (誰・何を対象に)	交通利便性の向上や災害時のネットワーク構築など新東名高速道路の整備効果を受けることとなる市民及び利用者				
事業内容 (手段、手法など)	・新東名高速道路の早期開通に向け事業を円滑に促進するため、地元調整や地元組織との連絡を密にし、地域連絡会や情報交換会を開催するなどの情報提供に努めるとともに、事業者との連携を図ります。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	事業スケジュール	用地取得・文化財調査・工事	用地取得・文化財調査・工事		
	地元調整	継続実施	継続実施		
関係機関調整	継続実施	継続実施			
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	新東名高速道路の整備促進	事業促進	事業促進	事業促進	



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	新東名高速道路の早期開通に向け事業を円滑に促進するため、地元調整や地元組織との連絡を密にし、地域連絡会や工事説明会を開催するなどの情報提供に努めるとともに、関係機関との連携を図ります。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	事業スケジュール	用地取得・文化財調査・工事	
	地元調整	継続実施	
	関係機関調整	継続実施	
実施した取組の内容	新東名高速道路の早期開通に向け事業を円滑に促進するため、地元調整や地元組織との連絡を密にし、地域連絡会や工事説明会を開催するなどの情報提供に努めるとともに、関係機関との連携を図った。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	新東名高速道路の整備促進	事業促進	事業促進

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		114		千円					千円
内訳	国県支出金 ①	0		千円					千円
	地方債 ②	0		千円					千円
	その他特財 ③	0		千円					千円
	一般財源 (a)-①-②-③	114		千円			0		千円
国県支出金の内容									
コスト	その他特財の内容	受益者負担		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期			
		その他							
人件費	正規職員	0.96	人	8,304	千円		人		千円
	その他の職員	0.24	人	583	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	1.2	人	8,887	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)				9,001	千円				千円
単位当たりコスト	対象数	定義		新東名高速道路の整備効果等を受ける全市民		単位		単位	
		対象数		101,635		人			
		総事業費／対象数		89		円		円	

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	地域連絡会や自治会単位の工事説明会等を開催し地元の意見や要望等の把握に努めるとともに、事業者と連携した新東名高速道路の整備促進や、周辺の環境整備を図った。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市事業内容等	新東名高速道路は、多くの都市を通過し整備されるため、他市町と同水準での対応が必須である。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	新東名高速道路事業の円滑な促進や地域に対する様々な機会を通じた情報提供などを目的に、定期的な地域連絡会の開催や、工事進捗に合わせた事業者による地元説明会を実施するなどの地域支援を行った。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	市内では着々と新東名高速道路の整備が進んでおり、工事に関する地元との具体的な調整事項が増加している。地域連絡会や工事説明会などを開催し、経費を抑えつつ円滑な整備促進を図った。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	市内では着々と新東名高速道路の整備が進んでおり、工事に関する地元との具体的な調整事項が増加している。工事計画や内容、進捗状況等については、地元自治会のみならず、広く市民等へ情報提供する必要がある。市民や議会、関係団体等への情報提供や現地見学会の開催など、事業者と連携した整備促進が重要である。
次年度取組方針		新東名高速道路の開通時期が迫るなか円滑な整備促進を図るため、地元調整や地元組織との連絡を密にし、地域連絡会や工事説明会を開催するなどの情報提供に努めるとともに、関係機関との連携を図る。		
所管部長による総評		本事業は本市の都市機能の向上を図る上で欠かすことのできない事業であるため、開通予定時期に向けて、引き続き事業者と連携して事業の促進を図るべきと考える。		